

平成28年度一般財団法人富山県バスケットボール協会 第8回理事会 議事録

- 1 開催日時 平成29年3月22日(水) 午後7時04分から午後8時19分まで
- 2 開催場所 富山県総合体育センター会議室
- 3 理事総数 24名
- 4 出席者 (1) 出席理事21名 荻原隆夫、牧田和樹、深松篤夫、山崎 均、松倉弘英、丹羽昭雅、構富士雄、杉本賢二、重原 裕、柴田 宏、清水久資、濱住知明、酒匂博臣、松倉恒輔、松井昭博、堀田哲博、大谷孝行、小坂龍人、岩城廣和、柳瀬雅之、松元健悟
(2) 欠席理事3名 野上浩太郎、廣川知巳、黒田 祐
(3) 出席監事なし
(4) 出席事務局 山木葉子
- 5 議 事
第1号議案 委員会の副委員長及び委員の委嘱について
第2号議案 平成29年度一般財団法人富山県バスケットボール協会事業計画及び予算について
報告事項 (1) 会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務執行状況について
(2) 理事辞任届の承認について
(3) 各委員会及び各種連盟からの連絡・報告について
そ の 他 (1) (公財)日本バスケットボール協会臨時評議員会について
(2) 平成29年度追加行事(近畿医科・歯科・薬科学生バスケットボール大会)について
(3) 第93回天皇杯・第84回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会2次ラウンドの準備について
- 6 会議内容
(1) 会長代行挨拶(荻原会長代行)
先日、全日本クラブ選手権に出場したブラックベアーズは、中国ブロック代表に惜敗したほか、Bリーグの富山グラウジーズの1部残留に向けて期待している。また、明日からは筑波大学の富山合宿がスタートするので、大いに学んでほしい。
本日の理事会は、委員会の副委員長等の委嘱のほか、新年度の計画・予算について審議いただきたいと挨拶があった。
(2) 理事会成立
構常務理事が理事の出席状況として、理事総数24名中、出席理事18名(議決時21名)であり、定足数を満たしているとの報告があった。
(3) 議事の経過の要領及びその結果
議長は定款第35条の規定により、荻原会長代行が選出され、議事進行を務めた。
◆第1号議案 委員会の副委員長及び委員の委嘱について
議長から説明が求められ、松倉専務理事がスポーツ医科学委員会の副委員長及び委員を委嘱する原案を説明した。特に質疑もなく、賛否を諮ったところ出席理事の全員一致で可決した。

◆第2号議案 平成29年度一般財団法人富山県バスケットボール協会事業計画及び予算について

議長から説明が求められ、松倉専務理事が平成29年度の事業計画及び予算について原案を説明した。北信越大学大会の開催補助金交付の必要性や天皇杯等の2次ラウンド開催費について質疑があった。中でも、天皇杯2次ラウンドは、JBAが主催であることから一切の経費はJBAで負担すべきとの意見があり、今後、協議していくとの回答があった。

また、単年度収支を赤字予算で編成することに疑義があり、定時評議員会までに会計事務所とも協議することとし、賛否を諮ったところ出席理事の全員一致で可決した。

(4) 報告事項

◆会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務執行状況について

松倉専務理事から定款第27条第6項の規定により、会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務執行状況について報告があった。

◆理事辞任届の承認について

松倉専務理事から、3月10日付けで堀田理事が3月31日をもって辞任する旨の届出について報告があった。後任者について質疑があり、役員は評議員会の決議が必要となることから、次回の理事会で選考し、次期の定時評議員会に諮るとの説明があった。

◆各委員会及び各種連盟からの連絡・報告について

- ・濱住理事（審判）から、B級審査会の結果報告と追加する委員について説明があった。
- ・酒匂理事（強化）から、県選抜チームの監督について説明があり、継続性などの質疑があったが同意を得た。
- ・松倉理事（普及）から、コーチ登録料について、今後検討していく旨の説明があり、徴集形態に関する質疑があり、年会費又は受講料の両面で検討することとなった。
- ・松井理事（医科学）から、委員等の委嘱により活動を展開していくが、まずは傷害に関するアンケート実施を始めることの報告があった。また、連盟として委員等に協力依頼をする場合は、協会が窓口となるかの質疑があったが、個別の連盟で対応することとなった。
- ・柳瀬理事（ミニ）から、1チーム編成の基準としてあった4校制限が撤廃されるとの報告があった。

(5) その他

◆（公財）日本バスケットボール協会臨時評議員会について

松倉専務理事から、資料を基に説明があり、議案として日本社会人バスケットボール連盟の設立と定款の改定について審議されたほか、様々な報告事項について説明があった。

ジュニアオールスターのU-15選手権化とは、どのようになるのかの疑義に対し、トーナメント方式で実施などの見直しが検討されるとの説明があった。

◆平成29年度追加行事（近畿医科・歯科・薬科学学生バスケットボール大会）について

松倉専務理事から、11月3日から5日までの期間に近畿医科・歯科・薬科学学生バスケットボール大会が開催されるとの連絡があり、審判関係の協力依頼があった。県内では、同一日程で各種大会が予定されているができる限り協力するよう要請があった。

◆第93回天皇杯・第84回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会2次ラウンドの準備について

松倉専務理事から、開催準備は競技委員会だけではなく、横断的な組織を設置して準備を進めていきたいとの説明があり、今後、その体制づくりを進めていくこととした。

◆平成28年度事業報告の確認について

松倉専務理事から、平成28年度事業報告として項目を整理したので、参加人数などの内容確認の依頼があった。

本理事会の議案等全ての審議が終了したので、午後8時19分に構常務理事が閉会を宣言し解散した。